



令和8年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

令和7年8月12日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム

上場取引所 東

コード番号 3096 URL <https://www.ocean-system.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長

(氏名) 本間 武士

TEL 0256-33-3987

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第1四半期の連結業績 (令和7年4月1日～令和7年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第1四半期	23,997	7.3	633	4.2	661	6.0	467	8.6
7年3月期第1四半期	22,367	7.7	607	2.8	624	2.4	430	△14.2

(注) 包括利益 8年3月期第1四半期 571百万円 (38.8%) 7年3月期第1四半期 411百万円 (△19.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第1四半期	49.66	—
7年3月期第1四半期	45.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
8年3月期第1四半期	23,683	11,662	49.2	1,238.94
7年3月期	24,082	11,204	46.5	1,190.25

(参考) 自己資本 8年3月期第1四半期 11,662百万円 7年3月期 11,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期	—	7.00	—	12.00	19.00
8年3月期	—				
8年3月期 (予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和 8年 3月期の連結業績予想 (令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,700	4.9	924	△9.8	967	△9.1	705	0.3	74.89
通期	95,800	5.2	1,928	10.1	2,023	9.5	1,404	33.8	149.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	8年3月期1Q	10,833,000 株	7年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	8年3月期1Q	1,419,350 株	7年3月期	1,419,327 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	8年3月期1Q	9,413,669 株	7年3月期1Q	9,413,673 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の安定や賃上げによる所得の増加を背景に、緩やかな回復傾向を維持しました。一方で、長引く円安による輸入物価の上昇や、米国の関税政策・中東情勢の不透明感といった地政学的リスクにも直面しており、国際的なサプライチェーンや原材料価格の動向につきましては、引き続き注意が必要な環境にあります。

当社グループが事業を展開する食品小売業界におきましては、持続的な賃上げに伴い雇用や所得環境が改善する一方で、米をはじめとする原材料価格の高騰に加え、人件費、物流費の高騰や、各社による価格競争の激化により、収益性の確保が課題となっております。

こうした環境のもと、当社グループは、社会環境の変化や働き方の多様化、環境問題への対応、そしてテクノロジーの進展といった課題に対し、令和9年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画を推進しております。また、商品やサービスの品質向上、業務効率化とデジタル化の取り組みを強化し、企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は239億97百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は6億33百万円（前年同期比4.2%増）、経常利益は6億61百万円（前年同期比6.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億67百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、競合店に対抗した価格戦略や試食会といったインスタプロモーションの強化を図ったことにより、来店客数は前年同期を上回りました。商品別では、引き続き需要が高かった米や、「青果フェス」による販売促進策が功を奏した青果部門の売上が堅調に推移しました。また、一部店舗で新たに太陽光パネルを設置し、環境負荷の低減に取り組むとともに、電力調達方法を多角的に検討し、経費の適正化を推進することで収益性の向上にも努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は69億68百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は2億38百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、フランチャイザーによる業務スーパー誕生25周年を記念した「ニコニコ感謝セール第2弾」や自社販促企画が奏功し、売上高、来店客数ともに堅調に推移しました。利益面では、ストアブランド商品の拡販を推進し収益の確保に努めたほか、タブレット端末を用いた温度管理システムの運用開始や、自動発注システムの運用を東北エリアに拡充するなど、生産性の向上と機会ロスの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は129億87百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は5億26百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、お弁当の品質や味・見栄えの向上を図り、お客様にご満足いただける商品づくりに継続して取り組むとともに、新潟県内の専門学校グループ向けに、月払いや年払いといったサブスクリプション型のお弁当の提供を行う「スクールランチ」を開始しました。

惣菜等の受託製造を行っている千葉工場につきましては、商品力の向上に努めたことで首都圏のスーパーマーケット向けの販売が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

利益面では、米などの原材料価格高騰に対応した商品開発や仕入の見直し、価格改定などを進めてまいりましたが、原価の上昇分を吸収できず、粗利率は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は27億4百万円（前年同期比10.6%増）、セグメント利益は77百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

(食材宅配事業)

福祉施設などへ食材販売を行う「ヨシケイキッチン」につきましては、試食提案などの営業活動を推進した結果、引き続き受注施設数が増加し売上は堅調に推移しました。主力である一般家庭向け食材セット「すまいるごはん」につきましては、夕食アドバイザーによる営業活動や折り込み広告の利用による販売促進を図ってまいりましたが、販売総セット数は減少しました。一方、ギフトやお取り寄せなどの季節商品の販売は堅調に推移しました。

利益面では、粗利率は前年同期から低下しましたが、配送ルートの見直しなど販売管理費の削減に努めた結果、赤字幅は前年同期と比べ縮小しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は12億14百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント損失は0百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館事業につきましては、宴会利用や旅行代理店を通じたバスツアー客による昼食利用が堅調に推移したものの、宿泊利用については個人客の利用が中心となり、定員稼働率は低調に推移しました。

その他事業の「焼肉黒真」につきましては、酒類や新メニューの提供など積極的な販売促進策を講じたことと、ランチタイムの来客数の増加により、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は1億22百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント損失は24百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億98百万円減少し、236億83百万円となりました。これは主に、投資有価証券が4億56百万円増加しましたが、配当金の支出と法人税等や賞与の支払により現金及び預金が7億91百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億57百万円減少し、120億20百万円となりました。これは主に、買掛金が3億10百万円、賞与引当金が1億64百万円、長期借入金が1億49百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払金が1億46百万円及び未払法人税等が1億29百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億58百万円増加し、116億62百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億54百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.7ポイント上昇し、49.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、令和7年5月13日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,780,051	3,988,537
売掛金	3,473,925	3,207,966
商品	2,236,171	2,384,877
原材料及び貯蔵品	200,605	201,647
その他	483,604	685,267
貸倒引当金	△2,278	△2,491
流動資産合計	11,172,079	10,465,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,546,533	5,480,190
土地	3,004,304	3,004,304
その他（純額）	1,318,962	1,359,101
有形固定資産合計	9,869,800	9,843,595
無形固定資産		
のれん	2,751	2,301
その他	227,579	234,784
無形固定資産合計	230,331	237,085
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	121,377	119,941
その他	2,689,776	3,024,906
貸倒引当金	△1,096	△8,012
投資その他の資産合計	2,810,056	3,136,835
固定資産合計	12,910,188	13,217,516
資産合計	24,082,268	23,683,321
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,295,938	4,985,351
短期借入金	709,057	667,280
リース債務	282,952	270,684
未払法人税等	267,067	138,019
賞与引当金	272,254	107,984
資産除去債務	9,907	15,330
その他	2,235,630	2,228,584
流動負債合計	9,072,808	8,413,234
固定負債		
長期借入金	1,834,500	1,684,660
リース債務	514,048	487,493
役員退職慰労引当金	190,100	172,300
資産除去債務	953,655	951,290
その他	312,504	311,348
固定負債合計	3,804,808	3,607,093
負債合計	12,877,617	12,020,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	10,764,138	11,118,616
自己株式	△1,169,816	△1,169,846
株主資本合計	10,762,813	11,117,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,099	489,719
退職給付に係る調整累計額	59,739	56,013
その他の包括利益累計額合計	441,838	545,732
純資産合計	11,204,651	11,662,994
負債純資産合計	24,082,268	23,683,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
売上高	22,367,950	23,997,111
売上原価	17,332,455	18,722,386
売上総利益	5,035,495	5,274,724
販売費及び一般管理費	4,427,710	4,641,485
営業利益	607,784	633,238
営業外収益		
受取利息	0	20
受取配当金	3	226
受取家賃	10,897	11,930
その他	22,253	23,056
営業外収益合計	33,154	35,234
営業外費用		
支払利息	5,501	5,753
その他	11,073	1,004
営業外費用合計	16,574	6,758
経常利益	624,364	661,714
特別利益		
固定資産売却益	—	918
特別利益合計	—	918
特別損失		
固定資産除却損	5,737	3,632
災害による損失	15,181	—
賃貸借契約解約損	221	1,702
特別損失合計	21,140	5,334
税金等調整前四半期純利益	603,223	657,297
法人税、住民税及び事業税	91,373	108,636
法人税等調整額	81,385	81,220
法人税等合計	172,758	189,856
四半期純利益	430,465	467,441
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	430,465	467,441

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
四半期純利益	430,465	467,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,025	107,620
退職給付に係る調整額	△1,784	△3,726
その他の包括利益合計	△18,810	103,894
四半期包括利益	411,654	571,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	411,654	571,335
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,706,203	11,887,383	2,445,270	1,207,954	121,137	22,367,950	—	22,367,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	491	313	118,458	4	1,139	120,406	△120,406	—
計	6,706,694	11,887,697	2,563,729	1,207,958	122,276	22,488,356	△120,406	22,367,950
セグメント利益 又は損失(△)	228,222	486,922	99,268	△13,692	△21,994	778,727	△170,942	607,784

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△170,942千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,951千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,968,821	12,987,575	2,704,258	1,214,318	122,136	23,997,111	—	23,997,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	569	499	140,390	—	1,019	142,479	△142,479	—
計	6,969,391	12,988,074	2,844,649	1,214,318	123,156	24,139,590	△142,479	23,997,111
セグメント利益 又は損失 (△)	238,768	526,950	77,313	△92	△24,219	818,720	△185,481	633,238

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△185,481千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,460千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
減価償却費	242,030千円	255,392千円
のれんの償却額	1,152	450